

院内感染とその対策について

新型コロナ感染リスクは？緊急性ない歯科治療は延期すべきか



不要不急の外出自粛は歯科医院にまで及ぶことになるのか？厚生労働省は9日までに、新型コロナウイルスの感染防止対策として、歯科医院で緊急性のない治療は延期も考慮することなどを求める連絡文書を出した。歯科診療前の患者の発熱やせきなどの症状確認や、診療室内の換気徹底のほか、歯科医師の判断で応急措置にとどめることや、緊急性のない治療の延期なども考慮するよう求めているという。

歯科治療の延期考慮をお願い

今回、厚生労働省から歯科医師に治療延期の文書が送られた背景には、歯科治療の特性にある。新型コロナウイルスは飛まつにより感染しやすいが、歯科診療ではウイルスを含んだ唾液などの体液に触れることが多く、歯を削る際に飛び散るため、歯科治療による感染が懸念されている。

最近、こういった記事やテレビのワイドショーでコロナウイルス感染に対して、歯科医院はとて危険なところだという意味の報道をよく耳にします。私もその通りだと思います。しかし、報道されている内容は、少しニュアンスが違っていただけないかと思しますので、院内感染と当院での感染対策についてご紹介したいと思います。

二つの院内感染

1. 来院される患者様から歯科医療従事者へ感染する場合
2. 歯科医院(スタッフを含む)を媒体として、患者様へ感染する場合

大きく分けると、この2種類の感染があります。我々は、この両方を防ぐために日々対策をしてきました。しかし、今回のコロナウイルスのように潜伏期間が長く、無症状で感染している人も多くて見つけにくい、しかも感染力が強い上に現在ワクチンや治療薬がない状態では、これまで通りの感染対策では、十分とは言えません。

「歯医者には危ないから行かないほうがいいのでは…」と言われるかもしれませんが、危険なのは誰なのでしょう。十分な感染対策が取られている病院においては、**本当に危険なのは、皆様よりも、我々歯科医療従事者だ**ということをご理解いただけたらと思います。現在当院では、考えうる限りの予防対策をさせていただいています。少し過剰に感じられるかもしれませんが、ご理解ください。

来院される患者様から歯科医療従事者への感染対策として



- ・受付へのビニールスクリーンの設置



- ・スタッフの姿【Dr,受付等】(マスク、ゴーグル、グローブ、フェイスシールドの着用)



- ・体温測定(非接触式)

歯科医院(スタッフ含む)を媒体として、来院される患者様への感染対策として



- ・待合の感染原因になりうるものの撤去(おもちゃ、雑誌、新聞など)



- ・間仕切りビニールスクリーンの設置(飛沫感染防止)



- ・ディスポーザブル(使い捨て)製品



- ・口腔外バキューム



- ・消毒、滅菌専属のクリーンスタッフの配置



- ・患者様ごとの**二重消毒**(アルコール,次亜塩素酸)

【タービン・コントラ等の切削器具の取り扱いについて】

皆さんが気になる切削器具は、患者様毎にきっちりとした滅菌処理を行っております。使い回しは一切ございませんのでご安心ください。



【使用器具の滅菌について】

当院で行っている滅菌手順やその理由を簡単にご説明いたします。

●超音波洗浄機

治療に使用した器具を超音波の力で洗浄するための機械です。
超音波洗浄機は、手洗いでは落としきれない器具の細部まで確実にきれいにします。
滅菌消毒処理前の器具の洗浄は重要な作業です。



●オートクレーブ

高温と高圧(2気圧、132℃)で細菌やウイルスを死滅させる機械です。
超音波洗浄後、滅菌パック詰めを行い、オートクレーブにて滅菌処理を行い、
患者様ごとにパッキングしています。当院では2台配備しています。



●ガス滅菌器

歯科医院で使用する器具のものでプラスチック製やサビを生じやすい器具は
オートクレーブを使用することで溶けたり、変形する可能性があるため、
使用することができません。そういった器具はガス滅菌により滅菌が可能になっています。



おわりに、

歯科治療は歯の治療だけではなく、来院される患者様からの感染を如何に防ぎ、他の人に拡散しないかが我々の役目です。感染対策がどのレベルでどれくらい講じられているかによって感染の危険性は大きく変わってくると思います。今後、市中感染が拡大すれば、歯科医院にも、コロナウイルス感染者が受診することもあるかと思えます。私たち、歯科医療従事者が、皆さんの口腔内のみならず、身体の健康を守るため、感染リスクは承知で、日頃から高度な感染対策に努力しています。マスク、グローブ、消毒薬の不足も噂されている時期ですが、当院におきましては十分に確保しておりますので、ご安心ください。

現在全国で緊急事態宣言が発令され、岡山でも決して安全とは言えなくなってきました。今後、感染拡大を防ぐため、皆様が外出を控えることも当然のことと思います。その際は、遠慮なく予約のキャンセルをしていただいても結構です。コロナウイルス感染症の終息は短期間では難しく、長期化することも考えておかなければなりません。

歯科医院は、今回のコロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザ、肝炎ウイルス等の感染症と常に向き合いながら皆さんの健康を守り続ける場所だと思えます。診療技術や設備が優れていることはもちろんですが、**感染対策のレベルこそが、安心・安全の歯科医療を受けるうえでの最も大きなポイント**であることをご承知おきください。

状況によりましては、当院でも来院される皆様とスタッフの健康を守るため、診療を縮小や全面休診に踏み切りざるを得ない場合もあるかと思えますが、ご理解いただければ幸いです。

院長 宇治郷 好彦